



ソレイユニュースレター 発行日:令和5年4月15日 発行部数:1000部 発行人:石井 トシ子 編集製作:情報委員会
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター 〒252-0143 相模原市緑区橋本 6-2-1 (シティ・プラザはしもと内) TEL:042-775-1775

さがみはら男女共同参画推進週間事業
「ソレイユフェスタ2023」
～自分らしく輝こう 未来に向けて～

♪【期間】6月17日(土)～6月25日(日) 【場所】ソレイユさがみ各セミナールーム ♪
詳しいことは、ソレイユさがみにお問い合わせください。TEL:042-775-1775

6/17(土)
13:30～15:00
(5/19より受付)

さがみはらいきいきフォーラム2023
「日本の政治と社会の行方
～女性と若者の参画が『カギ』～」
【講師】与良 正男さん(毎日新聞社 客員編集委員)



6月19日(月) 10:30～11:45 (5/19より受付)

子育ておしゃべりサロン 交流事業委員会・子育てサポーターズクラブ

6月21日(水) 13:00～15:00 (6/5より受付)

大人の名作映画鑑賞会 「哀愁」 NPO法人 学びサポート研究会

6月23日(金) 10:00～11:30 (6/5より受付)

生涯を通じた健康づくりセミナー
「安心・安全な内視鏡と増える大腸がん」
【講師】立野 英明さん(りつの内視鏡クリニック 院長)



6月24日(土) 10:00～11:30 (6/5より受付)

初めてでも簡単! メンズメイク教室
【講師】川端 由佳さん(有限会社マルコヤ)



6月25日(日) 10:00～11:30 13:30～15:00 (6/5より受付)

パソコンが苦手な子どものプログラム体験教室(どちらかのコースを1回のみ参加可能)
【講師】三宅 崇之さん(ランチパッドテクノロジー&パートナー株式会社)

6月25日(日) 10:00～11:30 (6/5より受付)

ダイバーシティ・シンポジウム
「(仮)私の『らしさ』とあなたの『らしさ』が会うとき」
【進行】林 加奈子さん(桜美林大学准教授)



6月17日(土)・25日(日) 10:00～15:00

ソレイユマルシェ 作家の思いが詰まっている手作り品の販売とワークショップ

6月17日(土)～30日(金) 10:00～16:00

パネル展「なるほどジェンダー」 情報委員会

桜美林大学生によるインターンシップ実習の感想

昨年10月から今年2月の期間中に桜美林大学の学生がソレイユさがみの講座やセミナーに参加し、インターンシップ実習を行いました。(順不同)

小池 砂輝さん (芸術文化学群 4年)

私は今回授業を通して初めて相模原市立男女共同参画推進センターの存在を知りました。参加したプチマルシェでは多くの女性が出店していることに驚き、その商品のクオリティの高さにも驚きました。情報委員会では活発な意見交換ができていて、意欲があり素敵だと思いました。高齢な方が多いので、積極的に若い世代との連携もあると意味のあるものになると思いました。どの活動も性別問わず関心を持ち、女性だけの場という雰囲気無くし、より開かれた場所になってほしいと感じました。今、男女共同参画推進センターを引っ張っている世代は高齢な方が多いので、若い世代がもっと積極的に関わる必要があると考えました。

長澤 綾乃さん (健康福祉学群 1年)

私は特にさんかくサロンに重点をおいて活動した。対象年齢を特に設けていないこのサロンでは若者の参加は私以外おらず、交流委員の方々が大変喜んでくださったことが印象に残っている。他にも土日に行われるセミナーではジェンダーについてのためになるテーマも多く、運営に携わると同時に自分自身の学びにもつながった。また、インターンを通して感じたことをもとに企画案を提出させていただいた際には熱心に聞いてくださり、私たち若者の意見が届くことを実感できる良い機会だった。3ヶ月間本当にお世話になりました。

大塚 和輝さん (グローバルコミュニケーション学群 1年)

私は今回ソレイユさがみのインターンに参加させていただき、今まで見ることのできなかった自分というものを見つけることができました。インターンに参加したことにより様々な年代の方やバックグラウンドを持つ方との交流ができたのも、自分の中でとても貴重な経験になりました。4か月というとても短い時間でしたが、その短さをもかき消すほどの多種多様な経験をさせていただいたことに感謝しております。短い時間でしたがありがとうございました。

ソレイユさがみ登録団体 PR コーナー

※連絡先はソレイユさがみにお問い合わせください!

ソレイユ伯水会 代表 田澤 昇

私たちのサークルは、書道の基本からスタートして、私たちが今使っている日本語のルーツを辿っていきます。遠く奈良、平安時代の古筆と呼ばれる、王朝美学の粋を紐解きながら、現代の詩歌・文に表現し、出来れば同じ墨で描いた水墨画の中に合体させて新しい世界を描いてみたいと模索しています。到達点はまだまだですが…。人間のあくなき欲望の拡大が、効率化と近代科学の発達を促し、確かに便利になりましたが、どうでしょう。

一見非効率な墨をゆるゆると磨り、筆で文字や絵を描いていると、なんと心が和むことでしょう。男女の別なく楽しめます。



相模原市視覚障害者協会 代表 宇都木 茂

当協会は昭和54年に設立され、現在会員数は正会員52名、賛助会員39名、合計91名です。モットーは、明るく、仲良く、元気よくです。団体の目的は、日頃抱えている悩みや問題について、その解決に向けて情報交換や研修会、当事者に寄り添ったピア相談などを行い、より豊かな社会生活の実現を目指しています。

また、会員相互の親睦と交流を深めるため、バス旅行や各種スポーツ、文化サークル活動など、ボランティアの方々とともに楽しく活動しています。



編集後記

5月8日からはコロナ禍感染対策もインフルエンザと同様な「5類」に移行。6月は「ソレイユフェスタ2023」が開催されます。是非皆さん足を運んでください。多様性を認め合い、共に生きる個性豊かな社会の実現を目指し、更なる一人ひとりの未来に向かって輝く飛躍の卯年にしたいと思います。今年度も宜しくお願いします。



(遠藤・小黒)